



KANEPACKAGE GROUP OF COMPANIES

# KPGreen Earth

A CORPORATE SOCIAL RESPONSIBILITY PROJECT NEWSLETTER

1st Issue 2021



SDGs 未来都市

埼玉県



埼玉県  
SDGsパートナー

# 経営ビジョン

私たちは、包装設計と梱包材、そしてサービスを通じ、  
『驚き』と『感動』と『安心』を、  
世界の一つでも多くの国の、一人でも多くのお客様に、  
スピーディー且つタイムリーにお届けしていきます。  
また、ステークホルダーからの信頼を高め、  
企業の存在価値を高め、  
エクセレントカンパニーを目指していきます。



## 目次

ごあいさつ 02		マングローブ植樹の マイルストーン 18
会社概要とCSR基本方針 03	マングローブ植樹活動 08 - 09	皆様からの声 19
KP Green Earthプロジェクト について 04	マングローブの様子 10	受賞等 20
なぜマングローブ林を 保護する必要があるのか？ マングローブ林の 価値と機能について 05	更なる発展にむけて 11	受賞等 21
プロジェクトの立ち上げ 06	校舎や施設などの寄贈 12	今後の目標 22
活動地域と提携市民団体 07	地域への支援 13 - 16	皆様からのメッセージ 23-24
	奨学金 16	弊社役員・従業員より皆様へ 24-26
	カネパッケージ グローバルチャレンジ 17	



### 金坂 良一

カネパッケージ株式会社 - 代表取締役社長

昨年来、国難とも言えるコロナ禍の影響で、健康を害された皆様には心よりお見舞いを申し上げます。また、医療機関に従事される皆様には、心より敬意を表すると共に、日夜弛まぬ医療活動への献身的なご尽力に深く感謝すると共に、一日も早いこの新型コロナの終焉を祈念いたします。

私たちカネパッケージグループは、医療機器を製造し医療従事者及び患者様の皆さんにお届けする仕事と、医療機器をはじめ皆様の生活に必要な物資を大切に包んで運ぶ役割を担っております。

環境に配慮し、省資源化を目指し、「包む」「預かる」「届ける」事業を通じ、環境にも人にも優しい企業活動に、従業員一同邁進しております。また、2050年カーボンニュートラルに向けて、地球温室化ガスの削減、CO2排出量の削減及びマングローブ植林の拡大により、カーボンオフセットも推進してまいります。グループを上げてSDGsへの取り組みを加速し、平和で持続可能な安心して生活できる環境づくりにも取り組んでまいります。

これからも、すべてのステークホルダーの皆様 「驚き」と「感動」と「安心」をご提供することをモットーに、「包む」技術を進化させ、「もの」を包むだけではなく、お客様の大切な「まごころ」も大切に包み、空気も心もきれいにする夢のパッケージを、一人でも多くのお客様にお届けして参ります。

今後とも末長くご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い致します。

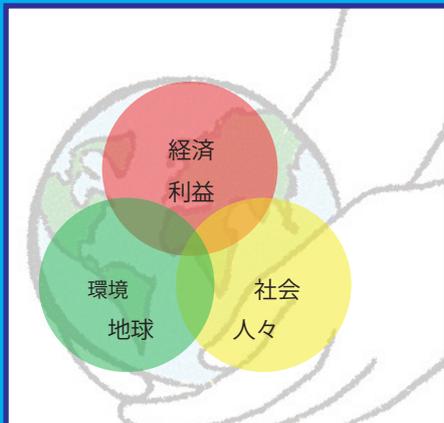
# ● 会社概要

会社名	カネパッケージ株式会社												
設立	昭和51年(1976年)9月29日												
資本金	5,000万円												
従業員数	1,000名 (関連会社含む)												
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種梱包資材(段ボール箱、各種段ボール製品、紙器等紙製品、各種箱やプラスチックコンテナ、各種緩衝材、各種袋 等)や物流副資材(物流パレット 等)の製造、販売</li> <li>・上記に関わる仕様設計や試験</li> <li>・倉庫管理(ピッキングやキitting作業、在庫管理 等)、梱包作業、その他トータル物流サービス</li> <li>・人材派遣(派11-301430)</li> </ul>												
役員	<table border="0"> <tr> <td>会長</td> <td>-</td> <td>兼平 作太郎</td> </tr> <tr> <td>代表取締役社長</td> <td>-</td> <td>金坂 良一</td> </tr> <tr> <td>常務取締役</td> <td>-</td> <td>高村 賢二</td> </tr> <tr> <td>取締役</td> <td>-</td> <td>勝野旭、兼平良太、兼平裕二</td> </tr> </table>	会長	-	兼平 作太郎	代表取締役社長	-	金坂 良一	常務取締役	-	高村 賢二	取締役	-	勝野旭、兼平良太、兼平裕二
会長	-	兼平 作太郎											
代表取締役社長	-	金坂 良一											
常務取締役	-	高村 賢二											
取締役	-	勝野旭、兼平良太、兼平裕二											

# ● CSR基本方針

カネパッケージグループは、CSR活動をSDGsと連携させ、社会福祉を大切に、また、ビジネスを環境保全に還元するべく活動しております。

当社のCSRプログラムでは「環境」「人々への支援」「安全、安心、福祉」を3つのテーマとして掲げております。企業活動の全ての領域において企業の社会的責任を果たすべく、当社を支えていただいているステークホルダー(お客様・地域社会・協力会社様・従業員・株主等)の皆様との良好な関係を維持・発展させ、社会との共栄、継続的成長を実現することに努めております。



持続可能な開発のための3つのボトムライン



**1 環境**

13 CLIMATE ACTION, 14 LIFE BELOW WATER, 15 LIFE ON LAND

マングローブ植樹、製品の省資源化による廃棄物削減、環境対応素材利用促進、等

**2 人々への支援**

4 QUALITY EDUCATION, 10 REDUCED INEQUALITIES

学校設立プロジェクト、奨学金プログラム 等

**3 安心、安全、福祉**

3 GOOD HEALTH AND WELL-BEING, 11 SUSTAINABLE CITIES AND COMMUNITIES

地域やステークホルダーの福祉や医療を支援するプロジェクト 等



弊社代表取締役社長である金坂良一は、カネパッケージグループが企業としてどのように環境保全に関われるかを長年に渡り思慮してきました。そんな中、ある時登った高尾山にて、毎年10万本の杉の木を寄付しているという日本人アーティストの活動に感銘を受けました。それをひとつのきっかけとして、拠点展開する海外各国への感謝の気持ちも込め、海外でのマングローブ植樹プロジェクト「KPGreen Earth」を開始しました。



## The KPGreen Earth Mangrove Project

KPGreen Earthは、2009年11月、代表取締役社長の金坂良一と、当社創業者であり現会長の兼平作太郎によりフィリピン共和国のオランゴ島にて活動を開始しました。同国環境天然資源省(DENR)、地方自治体、市民団体、地域の皆さんと協力して、マングローブ林の再生と保護に取り組んでおります。年に複数回、当社従業員やステークホルダーの皆様がマングローブの植樹ツアーに参加しています。また、現地の皆さんの全面協力のもと、ツアー以外にも植樹活動や苗木のメンテナンスを行っております。



# なぜマングローブ林を保護する必要があるのか？ マングローブ林の価値と機能について

## 気候調整

マングローブはCO<sub>2</sub>を吸収する能力が高く、気候変動の影響を緩和するのに役立ちます。

## 資源供給

マングローブは住宅建材や調理用木材として使用されています。

## 空気

マングローブは二酸化炭素吸収固定量が多く、酸素を豊富に生み出します。

## 沿岸防護

マングローブは海岸線を浸食から保護し、陸地からの土砂等の過度な流入を防ぎ、サンゴなど沿岸地域の生態系を保護してくれます。

## 生物多様性の生息地

マングローブ林は水辺の生態系に重要な役割を果たしています。魚類の約70%が、ライフサイクルの一部でマングローブに関わっているとも言われております。

## 経済的利益

マングローブは、水産や海洋資源に貢献するだけでなく、エコツーリズムも生み出しています。

## 文化的価値

マングローブのうちのいくつかの種は、伝統的な薬として利用されています。また、フィリピンの首都マニラは、マングローブの一種「ニラッド」にちなんで名づけられています。

# ●プロジェクトの立ち上げ



オランゴ島における活動について  
地当局とパートナーシップ署名 | 2010年2月



ボホール島ガタフェにおける活動につい  
て、現地当局とパートナーシップ署名 | 2011年11月



ボホール島タリボン及び近隣地域での活  
動についての現地当局との署名 | 2012年8月



西ネグロス州ビナルバガン及びカバンラン  
での活動におけるプロジェクト立ち上げとコ  
ミュニティとのパートナーシップ署名 | 2019年11月

## KPGREEN EARTH プロジェクトの立ち上げと地域との連携

当プロジェクトでは、フィリピン共和国リージョン7(中部ビサヤ地方)の環境自然資源省(DENR)、地方自治体(LGU)、地域環境自然資源省(CENRO)および市民組織(PO)と提携しております。提携する市民組織と地域コミュニティにマングローブの植樹や管理に有償で協力してもらうことにより、環境保全だけでなく地域経済への貢献にも繋がっております。

# ● CSRプロジェクトの場所およびPOパートナー

- 西ネグロス州の自治体であり、2020年の人口は71,407人です。
- 主要産業は、農地の40%を占めるサトウキビを主とする農業です。
- PO パートナー: Nabuswang Ecopark Mangrove Plantation Association
- 会員数: 47

## ● ビナルバガン



## ● タンジャイ市



Philippines

- 2015年人口80,532人の東ネグロス州の都市です。

## ● オランゴ島



- この島はバードウォッチングで知られ、セブ州の主要観光地の1つとなっています。近隣の小島とあわせ人口は25,000人以上。主要産業は漁業です。

- PO パートナー: Olango Island Eco-Tour Association

- 会員数: 35

## ● バディアン



- バディアンはセブ南部の自治体であり、2020年の人口は43,735人。キャニオニングで有名です。
- PO パートナー: DAFA and BUFFALOO
- 会員数: 81

## ● バナコン島



- 島には主に約500世帯が住んでおり、主要産業は漁業です。この島には、19060年代に設立された大規模なマングローブ植林団体があることで知られています。

- PO パートナー: Banacon Fisherfolks and Mangrove Planters Association

- 会員数: 230

# ●マングローブ植樹活動



フェーズ 1、オランゴ島サバンバランガイ  
| 2009年11月10日



フェーズ 2、オランゴ島パンガンアン バランガイ  
| 2010年2月12日



フェーズ 3、オランゴ島サンピセンテ バランガイ  
| 2010年11月28日



フェーズ 4、オランゴ島サバン バランガイ  
| 2011年6月5日



フェーズ 5、オランゴ島サバン バランガイ  
| 2011年8月5日



フェーズ6、オランゴ島サンピセンテ バランガイ  
| 2011年9月18日



フェーズ 7、バナコン島 ヘタフェ ポホール  
| 2011年11月26日



Pフェーズ 8、バナコン島 ヘタフェ ポホール  
| 2012年2月12日



フェーズ 9、バナコン島 ヘタフェ ポホール  
| 2012年11月23日



フェーズ 10、オランゴ島サバンバランガイ  
| 2013年2月10日



フェーズ 11、バナコン島 ヘタフェ ポホール  
| 2013年3月24日



フェーズ 12、ネグロスオリエンタルマ  
ニエ タンジャイ市 バランガイ  
| 2014年3月21日



フェーズ13、オランゴ島サバンバランガイ  
| 2014年11月22日



フェーズ 14、ネグロスオリエンタルマ  
ニエ タンジャイ市 バランガイ  
| 2015年7月25日



フェーズ 15、オランゴ島アシナン バランガイ  
| 2015年11月19日

# ●マングローブ植樹活動



フェーズ 16、オランゴ島アシナン バランガイ  
| 2016年3月19日



フェーズ 17、オランゴ島アシナン バランガイ  
| 2016年10月22日



フェーズ 18、オランゴ島サンビセンテ バランガイ  
| 2016年11月22日



フェーズ19、オランゴ島タリマ バランガイ  
| 2017年11月9日



フェーズ20、バナコン島ヘタフェ ポホール  
| 2017年11月22日



フェーズ21、オランゴ島タリマ バランガイ  
| 2018年2月10日



フェーズ 22、セブ、バディアン バランガイ  
| 2018年11月10日



フェーズ23、セブ、バディアン ポブラシオン バランガイ  
| 2019年2月10日

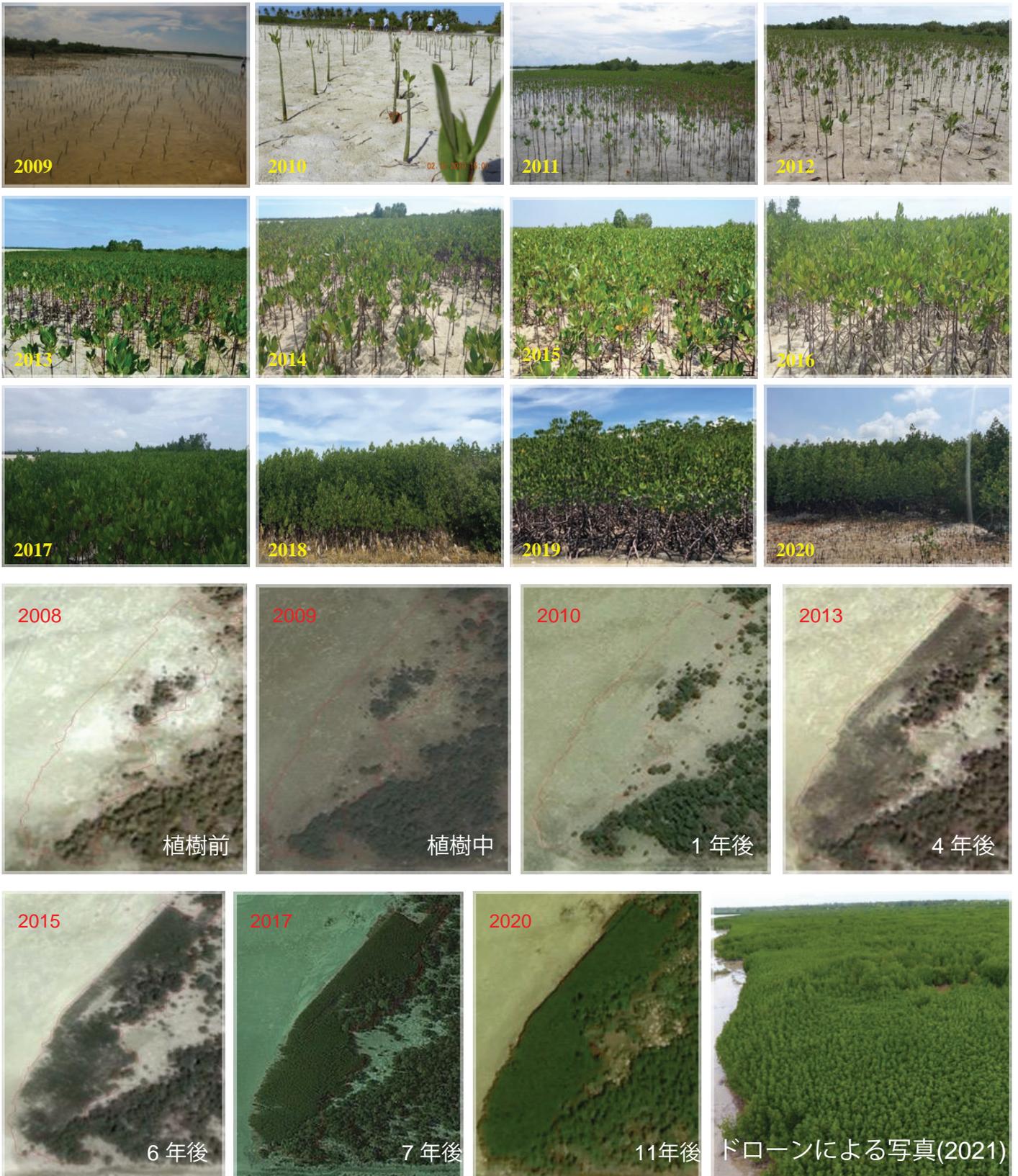


フェーズ 24、オランゴ島サバンバランガイ  
| 2019年3月21日



フェーズ 25、ネグロスオリエンタル  
ビナルバガン ナプスワン バランガイ  
| 2019年11月23日

# ●マングローブ植樹



植樹活動の衛星画像とドローン画像

これは、フェーズ1にて植樹した区域の航空写真です。  
 この区域のマングローブの高さは平均2.5m程に達し、多くの生き物の住処となるなど、マングローブ林としての機能を果たしてくれております。多くの木々は既に実を付け、マングローブ林の更なる拡大が期待できます。

## 更なる発展にむけて



### 異なる種のマングローブの苗床

当活動では、偏った種類のマングローブの植樹による自然環境への弊害を避けるべく、複数種のマングローブの苗木を育成、植樹しております。

### マングローブ 研究所の発足

当活動により科学的なアプローチでのぞむべく、2019年12月8日に、セブオフィスにマングローブ研究開発センターが開設されました。



## 校舎や施設 などを寄贈

### 学校プロジェクト

マングローブ植樹にご協力頂いた各地域へ、学校の校舎や福祉施設などを寄贈する活動を続けております。また、教材や学習用品などの寄附も随時行っております。

2019 デイケアセンター (セブ)



2013 2つの教室がある校舎 (ボホール)



2016 デイケアセンター (ネグロス)



2011 デイケアセンター (セブ)



## 地域への支援

### デイケアセンターへ本の寄付

毎年、セブ州オランゴ島のサンビセンテ、バナコン島 ヘタフェ、ボホール、タンジャイ市のマニピスデイケアセンター及びバナコンデイケアセンターの子供たちに本をプレゼントしております。



### クリスマスプレゼント

フィリピンの人々にとってクリスマスは重要なイベントです。弊社では、オランゴ島、バナコン島、タンジャイ市等の学校の子供たちに毎年クリスマスプレゼントを渡しております。



### 石鹼づくりプロジェクト

オランゴ島はセブで最も人気のある観光地の1つであり、主要産業は漁業と観光産業でしたが、COVID-19のパンデミックにより観光産業は大打撃を受けております。そんなオランゴ島に代替産業をつくるべく、2020年12月18日より、弊社は地域コミュニティと協同で『石鹼づくりプロジェクト』を開始しました。



### ミンダナオでの教材の寄贈

2019年6月3日には、ミンダナオ島コタバト州ミドサヤップにある公立ヴィラリカ高校へ教材や学習用品を寄贈しました。



## 寄付活動

カネパッケージグループのCSR活動は、人々の福祉を大切に、ビジネスを社会へ還元するという精神のもとに実施しております。

弊社の寄付活動は、弊社拠点の所在地域をはじめ、自然災害の被災地や、遠方の小さな離島にも及んでいます。

今後もCSR活動とSDGsへの取り組みの継続と拡大に一層取り組んで参ります。

### フィリピン共和国ボホール 地震 - 2013



ボホール島 地震寄付

2013年10月15日、マグニチュード7.2の地震が発生、中部ビサヤ地方のボホールに甚大な被害をもたらしました。弊社従業員は被災地のひとつバナコン島を訪れ、500世帯以上にお米や缶詰などの救援物資を配布しました。

### 台風ハイヤン被災地支援 - 2013



台風被災地への浄水器の寄付

2013年11月8日、フィリピンのレイテに超大型台風ハイヤン（現地呼称ヨランダ）が直撃、約6,300人が亡くなりました。

カネパッケージグループでは、日本から輸入した携帯型浄水器を州立病院や自治体に寄附致しました。

浄水器を病院や自治体に寄附  
21 ユニット - タクロバン市の balan-gai  
5 ユニット - 州立病院  
4 ユニット - (2) バナコン, (2) オランゴ

## タール火山の噴火 - 2020



タール火山噴火時のN95  
マスクと救援物資の寄付

2020年1月12日、フィリピンの首都マニラより南に60 kmに位置するタール火山が噴火。36億ペソ（約80億円相当）相当とも推定される甚大な被害をもたらしました。

これに対し、弊社では計1,400セット以上の救援物資を供給。また、パンデミックの影響も重なりN95マスクが入手困難となったことから、日本や各国でN95マスクを調達、合計10,950枚のN95マスクを現地に送付しました。

## 台風ユリシズ - 2020

2020年11月11日、台風バンコ/ユリシズがフィリピンを直撃、ルソン島北部では大規模な洪水が発生しました。その被害は約40億ペソ（約90億円相当）に達しました。弊社では、政府機関国家災害リスク削減管理委員会(NDRRMC)を通じ、カタンドゥアネス島200,000ペソ、カガヤンバレー州に200,000.00ペソを寄付致しました



台風ユリシズ寄付



## COVID-19 パンデミック- PPE 寄付 2020



フィリピンの病院へPPE 寄付

COVID19のパンデミックによるPPE (医療従事者向け個人用防護具) や消毒用品の逼迫に伴い、弊社では独自にアルコールとPPEの調達、マニラ首都圏、ラグナ州、バタングス州、カビテ州の病院に寄付しました。

寄付をした病院は以下となります。

University Health Service, U.P. Los Los Baños, San Pablo City General Hospital, Calamba Doctors Hospital, Lipa Medix Medical Center, Ospital ng Muntinlupa, Research Institute for Tropical Medicine, Ospital ng Imus, Bacoar District Hospital, Las Piñas District Hospital and San Jose Batangas District Hospital.

## COVID-19 パンデミック 救援寄付 2021



ボホール島やバナコン島の住民は、Covid19のパンデミックに伴う移動制限により、ある期間、島間の渡航ができなくなってしまいました。この期間中は主要な販売市場であるセブへの渡航が禁止されてしまったため、経済的に大打撃を受けました。弊社では2020年4月4日に米や缶詰を寄附し支援を行いました。



バナコン島の漁業コミュニティへの救援寄付

## COVID-19 パンデミック - PPE 寄付 インドネシア 2021

東南アジアでもCovid19の症例数が最も多い国であるインドネシア共和国。カネパッケージインドネシアでは、所在するブカシ県チカランの病院や診療所にPPEを寄付しました。



インドネシアの病院へ PPEを寄付

## COVID-19 パンデミック - 2021年 ベトナムへ寄付

KP Vietnam extends support to employees



カネパッケージベトナムでは、パンデミックによる様々なリスクにさらされる従業員やその家族を保護すべく、食料の配布などの支援を実施致しました。

## 台風オデット（ライ） 寄付 2021



### ビサヤ地方での台風オデットの寄付

2021年12月16日と17日、台風オデット（ライ）が、ビサヤ地方とミンダナオ地方に上陸。400人以上の死者、数百万人被災者が発生しました。

弊社では、セブ、ボホール、ネグロスオリエンタルの各現地にて、計850世帯以上に米、卵、缶詰などの救援物資を配布しました。

## 奨学金

### カネパッケージ奨学金プログラム



Jonnalyn Quiapo さん  
オランゴ島、学者

カネパッケージの支援に心から感謝しております。奨学金がなければ私が夢を追うことはかなわなかったでしょう。



奨学金プログラムは2019年に開始。マングローブプロジェクトに積極的に参加している市民団体のメンバーの子供たちを支援しています。

オランゴ島のJonnalyn Quiapoさんは当プロジェクトの奨学生第一号。現在セブ工科大学にて生物学を学んでいます。

# カネパッケージ グローバルチャレンジ



## カネパッケージグローバルチャレンジ

2015年、弊社では『カネパッケージグローバルチャレンジ』プロジェクトを開始しました。これは、学業など、従業員のスキルアップやキャリアアップなどへの「挑戦」を経済的、時間的に支援する取り組みです。

このチャレンジの支援修了第一号は、フィリピン社のスタッフであるアブナー・バルヌエヴォさん。2018年9月、国立埼玉大学理工学博士課程を修了、博士号を取得しました。

# マングローブ植樹、 5年で500万本突破

## 5年間で500万のマングローブを植樹を記念しての式典

KPGreen Earthプロジェクトによるマングローブ植樹は、2014年には500万本を突破。

11月には関係者の皆様への感謝を含めた式典が開かれ、フィリピン政府環境自然資源省の皆様、埼玉県庁の皆様、現地ヘタフェ市長と市役所の皆様、現地市民団体の皆様など、多くの方にご臨席頂きました



フィリピンでの式典の様子。



在日本フィリピン大使館での式典の様子。

## マングローブ植樹は10年で1000万を突破

2018年2月に開かれた式典には、PEZA(フィリピン経済区庁)高官、フィリピン政府環境自然資源省の皆様、ヘタフェ市長、在フィリピン日本大使館代表、提携市民団体の皆様など、多くの皆様にご臨席頂きました。

また、日本においても、在日本フィリピン大使館にて式典が開かれ、フィリピン大使館の皆様、埼玉県庁の皆様、提携市民団体の皆様など、多くの皆様にご臨席頂きました。

# 皆様からの声

➤ KPグリーンアースプロジェクトでマングローブ植樹や管理をすることは、私たち地元住民自身の環境への意識を高めることに繋がっており、私たちの団体のメンバーも増えております。

植樹により拡大したマングローブ林には今や多くの生きものたちが息づいています。



DIOSCORO CANLUBO III様  
バナコン島  
KPグリーンアース提携団体



ROSELYN QUIAPO様  
オランゴ島  
カネパッケージ奨学生のお母様

➤ 私の娘には大きな夢がありましたが、経済的理由でそれを目指せずにいました。

しかしカネパッケージの奨学金制度のおかげで、娘は大学は大学で勉強することができています。



ESTELA ORAL様  
オランゴ島  
地元自治体代表

➤ カネパッケージは私たちの地域の福祉や学校を継続的に支援してくれています。



FLORDELIZA FEROLINO様  
バディアン、セブ  
KPグリーンアース提携団体

➤ マングローブ植樹により私たちの地元の沿岸地域の自然環境は大いに改善されています。



VALENTINO PATRON様  
サンゼバタンガス市長

➤ カネパッケージの、私たち被災地域への厚いご支援に心より感謝しております。

# 受賞等



## 感謝状

環境天然資源省地域7様より  
 マングローブプロジェクトに対して。  
 2009年2月12日



## グローバル環境賞 “海外にてマングローブ植樹によるカーボンオフセット”

Technology Advanced Metropolitan Area (TAMA) Vitalization, Inc.  
 一般社団法人首都圏産業活性化協会様より、東京、日本  
 2010年11月25日



## 感謝状

環境天然資源省地域7様より  
 オランゴ島マングローブ植樹に対して。  
 2010年11月28日



## “彩の国埼玉環境大賞優秀賞。2009年か

らのマングローブ植樹に対して。



## 感謝状

セブ州ラプラプ市政府様より  
 サンビセンテデイケアセンターへの支援に対して。  
 2012年4月11日



# 受賞等



## TAMA ブランド大賞 “マングローブ環境保全大賞”

一般社団法人首都圏産業活性化協会様より  
2013年11月28日

## 地球温暖化防止活動環境大臣賞国際貢献部門

環境省石原伸晃大臣(当時)より  
2013年12月4日



## Plaque of Recognition

環境天然資源省地域7様より  
環境保護への取り組みに対し。  
セブ市マングローブエ市バナラッド  
2013年12月20日

## COMMUNICATE MAGAZINE コーポレートエンゲージメントアワード 2014

地域社会貢献優秀賞 - 各CSR活動に対し。  
ロンドン、Communicate Magazine様より。  
2014年10月28日



## 第2回 ガワッドトゥガス賞

環境天然資源省地域7様より  
ラハグ セブンティ  
June 30, 2016年6月30日

## 感謝状

ラプラプ市政府様より、サンデイケアセンターへの支援に対し。  
April 11, 2017年4月11日



## 感謝状

ミンダナオ島コタバト州公立ヴィラ  
リカ高校より、寄附等支援に対して。  
2019年6月3日 | 北コタバト、ミッド  
サヤップ



## 感謝状

環境天然資源省地域7様より  
マングローブ植樹1000万本突破に対し。  
2018年2月10日 | セブ、シャングリラ・マクタン



# KP CSR &

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

## 現在進めている取り組み

引き続きCSRおよびSDGsプログラムへの取り組みを強化して参ります。

2022年は、フィリピンでの台風オデットの被災地への支援として、家屋の修理等への経済的支援を行います。

また、フィリピン各地の地域の福祉施設や体制の改善に向けたプロジェクトを開始します。

マングローブ植樹については、引き続きフィリピンの各島々への拡大と、東南アジア他国への拡大に取り組んで参ります。

## 2025年にむけて

2025年には、マングローブ植樹1500万本突破を予定しており、セレモニーを開催予定です。ここでは、環境天然資源省などフィリピン政府関係者の皆様、各地方自治体の皆様、経済特区庁の皆様、市民団体や地域の皆様、カネパッケージグループのお取引先様など、当社のCSR活動をご支援頂いている皆様をお招きする予定でございます。感謝状の贈呈などを行うとともに、引き続きのご支援と益々の連携をお願いさせて頂く予定でございます。

## 2050年 CO2 ニュートラル企業をめざして

2050年には、より完成度の高いカーボンニュートラルを達成する企業となっていることをめざしております。

マングローブ植樹に大気への効果を定量化し、事業活動からのCO2排出量を計算します。

また、日本、フィリピンのカーボンクレジット認証取得を目指します。





## Edgardo Rostata 様

PENRO  
環境天然資源省

マングローブは沿岸生態系の要です。さまざまな生き物の生息地であり、水害から沿岸を守る防壁であり、水産資源の源でもあります。

ここネグロスオキシデンタルでは当プロジェクトにより2ヘクタール以上にわたりマングローブが植樹されています。環境天然資源省、各自治体、市民団体と提携し、丁寧な管理が行われております。

マングローブ林保護に対する意識を継続的に拡大するために、私たちの地域では長年に渡って清掃や様々な環境保護活動が実施されてきました。自然環境を保護するとともに、エコツーリズムへの取り組みとしても力を入れております。

気候変動による自然災害の脅威や現在のパンデミックの中でも環境への取り組みを維持するという目標を達成するため、私たちは旧来の発想に捉われない新しいアイデアを模索しています。カネパッケージや各自治体、市民団体、地域の皆様と緊密に連携し、戦略的パートナーシップとすることで、私たちだけではなしえない成果を生み出していただければと望んでおります。真の変革をもたらすのはパートナーシップとコラボレーションであると私たちは信じています。

## Casey Shaun Camacho 様

市長  
LGU –ボホール、ヘタフェ

カネパッケージグループの代表取締役社長である金坂良一氏に敬意を表します。

フィリピンのボホール州ヘタフェの地方自治体 (LGU) が、カネパッケージグループと提携し、『KPGreen Earth Project』でヘタフェのバナコン島でマングローブ植樹を始めてから10年以上が経ちました。

カネパッケージグループが私たちと連携し活動に取り組んでいることは大変幸運なことだと思っております。



KPグリーンアースプロジェクトや、その他地域や学校への支援に心よりの感謝を述べさせて頂くとともに、その協力ができたことを大変嬉しく思います。

ボホールのヘタフェ市長として、この経験から多くのことを学びました。マングローブ林保護に対する地方自治体としての取り組みもより活性化されました。

マングローブ林は、沿岸地域の開発の影響で過去数十年でほぼ半分に減少してしまいました。その為、近年の台風「オデット」上陸の際には被害がさらに拡大してしまいました。この被災に対してもマングローブの苗木提供や被災地への救援物資提供、寄付等多大なる支援して下さったカネパッケージグループに感謝いたします。

カネパッケージグループに大いなる敬意を表します。



## Dennis Divinagracia 様

LNMB会長  
セブ、バディアン

KPグリーンアースプロジェクトは環境保護に大いに貢献してくれています。私たちDAFA(漁業組合)は、沿岸の浸食を減らし環境を改善する為、このマングローブ植樹に参加し、また各地域自治会にも支援を要請しております。

台風オデットの被災に対してもご支援くださったカネパッケージグループへ心より感謝申し上げます。貴社のように寛大で親切な方々を見つけることは滅多にありません。ありがとうございます。

私たちの地域は、カネパッケージとともにマングローブ植樹に3年以上取り組んでおります。このプロジェクトを通じ貴社の発展もお助けしていけたらと考えます。

私たちは貴社のすべての功労に感謝するとともに、貴社の助けになれるようこれからもサポートして参ります。貴社の益々のご成功をお祈りいたします。

## Stanley Keith Saycon 様

地域自治会代表  
タンジャイ市、マニピスグロスオリエンタル

カネパッケージには、マニピス区自治会に多大な支援をして頂いております。私たちの地域はマングローブ植樹によりこの地域の漁業の将来を明るくしてくれました。また、台風オデットの被災に対しても、多大なる支援を頂きました。その活動に心より感謝いたします。



## 弊社役員・従業員より皆様へ



高村 賢二  
KANEPACKAGE CO. LTD.  
本社常務取締役

カネパッケージでは、「空気をきれいにする夢のパッケージ」をモットーに、CO2の削減を事業の具体的な取組みの一つとし位置づけ、持続可能な社会の実現に向け取り組んでまいります。

また、従業員が働く職場において多様性を尊重し、一人一人が力を発揮できる環境を整え、従業員の安心・安全な職場環境を構築することにより、付加価値の高い製品の開発や新しいビジネスの創出につながると確信しております。

カネパッケージは全従業員一丸となってSDGsの意義と実現に向けて取り組んでまいります。



## 勝野 旭

KANEPACKAGE CO. LTD.

本社取締役／海外事業統括

私どもカネパッケージグループは、2000年代後半から、環境改善活動を主にフィリピン及び日本にて続けています。活動にあたり、当社の理念と経営ビジョンを社内外へ周知し、自社事業との連携を強化しています。昨今はSDGsの認知度が向上し、各社それぞれの義務として浸透しており当社もより本業との関りを深めた上での事業展開が必要となっています。継続した活動を全ての関係者と協力しつつ、更なる取り組みを実施し目標を達成していきます。

## 兼平 裕二

KANEPACKAGE PHILIPPINE INC.

SUPERFLEX LOGISTIC INC

本社取締役／フィリピン各現地法人社長



ここフィリピンでも、SDGsの浸透に代表される環境への関心の高さを最近特に感じます。私たちが2009年にマングローブ植樹活動を始めた当初は、お客様の殆んどが当社の取り組みに関心を持っていませんでした。それよりむしろ(低コスト)(高品質)(安定供給)(安全対策)の管理体制のフォーカス感が強く、環境改善活動はどこか商売繁盛の象徴の様な扱いだっただと記憶します。ところがここ2、3年での急激な環境への関心の高まりから、当社のマングローブ植樹活動に感心したとの声を様々な所で伺う機会が増えました。これまでの我々グループの活動が評価されたようで、大変誇らしく思います。

私個人としては、我々の誇れる強みは「行動力と実行力」にあると思います。我々カネパッケージグループは良いと思った事は即実行に移し、それを軌道に乗せる(成功させる)為の勇気と知識と経験を持った人材に溢れています。環境改善活動に関しても、これらの強みが惜しみなく発揮され、CSR活動のメイン事業としてフィリピン社会に貢献している事を誇りに思います。



## 八木 誠悟

KANEPACKAGE PHILIPPINE INC.

SUPERFLEX LOGISTIC INC

本社執行役員／フィリピン各現地法人副社長

私は、金坂社長がCSR活動をスタートした時からその取り組みに深く関わらせていただいております。あらためて、このプログラムの難しさ、同時に重要性を深く感じており、現在も継続して活動できている事を非常に嬉しく思っております。おかげさまでもちまして、その規模は以前に増して大きくなっております。

私たちが行っている事は、地球規模からしてみれば小さな事かしれませんが、小さな事の積み重ねが非常に重要だという事をあらためて気づかされます。またそれは事業にも生かされていると思います。

今後、小さな事も意識しながらこの取り組みに関わっていきたいと思います。しっかりと継続し、未来の子供達の為に、少しでも良い環境を残していきたいです。



## 石崎 純平

PT. KANEPACKAGE INDONESIA

インドネシア現地法人社長

企業の社会的責任を意識することは、現代の経営にとってもはや当然のこととなっております。弊インドネシア社は、より規模の大きい先発同業他社が数多ひしめく中、後発での進出だからこそ、経済活動だけにとどまらない当地への貢献がより重要であると考えております。

各種経済連携協定による輸出入の加速やオンラインショッピングの隆盛により、梱包や物流に関わる環境負荷への注目度は日増しに高まっております。カネパッケージが40年以上に渡り培ってきた技術、そして想いでそれに応え、また、当地の皆様にも共有し、その輪を広げていくことが、弊社の当地での責務であると考えております。

ビジネスの拡がりとともに、地域の人々の笑顔や、自然環境の改善が広がっていく、そのような理想をもって事業に取り組んで参ります。

## 設楽 淳一

KANEPACKAGE VIETNAM CO. LTD.

ベトナム現地法人社長

カネパッケージベトナム社では、環境に取り組む企業として、梱包材を通じて、環境に配慮した設計、素材などから環境保全、向上活動に取り組んでまいります。梱包材で貢献できる温室効果ガスの削減にも積極的に取り組んでおります。また、ベトナムでのマングローブの植林活動も行えるよう進めております。

地域への社会貢献として、孤児院、災害被災地などへの寄付活動も継続しております。

お客様の満足度向上を重要課題とし、環境の改善も含めた梱包材の提案を行い、価値の高い製品を提供いたします。

また、人権を尊重し、働き甲斐のある職場環境づくりをおこない、従業員満足度の向上も目指してまいります。



## 甲斐田 敬恒

KANEPACKAGE THAILAND

タイ現地法人社長

パリ協定にしたがった2020年以降の温室効果ガス排出削減等のための新たな国際枠組みは急速に進んでおります。この動きは当地も例外ではありません。政府主導で温暖化対策に向けた革新的イノベーションに対し補助金制度を導入する等、まさに経済と環境の両立を図っていくとする明確な姿勢を打ち出しています。

外務省が取りまとめた平成29年地域別日系企業進出(拠点)数によりますと、アジアの割合は全体の70%とダントツであり、2位北米12.5%を凌駕します。そのアジアにおいて中国、インドの存在感は非常に大きいものの、東南アジアにおいてはタイは1位です。日系企業経済は非常に大きく多くのビジネスチャンスがある一方、競合ひしめる厳しい市場といった側面もあります。かような環境下において、カネパッケージグループ方針にしたがい、当社においても環境対策への対応を強化し、他社との差別化を図った顧客提供価値を深化させていきます。我々の取り扱う梱包資材は多岐にわたりますが、当社グループの大切な資源の一つである経験ノウハウを活かし、環境負荷低減に向けた提案活動を進めて参ります。

カネパッケージタイランドはカネパッケージグループの一員として、全体方針にならった活動を推し進め、当社ビジョンである「驚き、感動、安心」をしっかりとお客様へお届けして参ります。

“私たち、そして地球上すべての生命の『家』であるこの惑星を維持するため、できる限りのことをするのが私たちの責任です。私たち全員に、この青い惑星をケアする責任があるのです。人類、そして地球上のすべての生命の未来は、いまや私たちにかかっています。破壊することも、いたわることも、私たち自身の選択なのです。”

-デイビッド・アッテンボロー



## KPGroup Philippines, Inc

23F Tower 1, Insular Life Corp. Center,  
Filinvest, Alabang, Muntinlupa City  
Tel. No.: 02 8555 1098

## Cebu Office

510 iMEZ Bldg., Outlets Pueblo Verde, MEZ2, Basak,  
Lapu-lapu City, Cebu  
Tel. No: 032 8268 5903